



2.年始のあいさつ

4.民間園長研修会

5.育児相談研修会

6.海外交流研修会

7.全国青年保育者会議静岡大会

8.ぶらんこ・園紹介

11.ふじさんっこ応援フェスタ

児童虐待防止静岡の集い

12.各地区での保育園まつり

14.支部だより

15.委員会報告

📷 写真提供：湖西市 真愛保育園

会長挨拶



静岡県保育連合会会長

後藤 弘明

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、県保育連合会の各事業につきまして、皆様のご理解ご協力をいただきましたことを感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今、子どもの出生数が一〇〇万人を割れ、稼働人口も減少し、児童虐待はその件数を毎年更新し、マルトリートメントによる気になる子どもも増えているような気がします。

こうした状況を踏まえ、国では消費税増額分の使い道を変更し、子どもの保育・教育を充実させていくことになりました。このことで保育現場での保育士不足や事務量の増加、在園児の長時間化による保育士の心身の疲労などが改善してくれたらと願うばかりです。

一方で、保育士等の処遇を改善するために

処遇改善Ⅱが実施されることとなり、保育の質を高めるためにキャリアパス体系を確立し、仕事が賃金に見合ったものに近づける努力がされています。

現在、県と県保連・保育士会にて、ふじのくに型キャリアアップモデルを作成し、来年度の研修から実施できるよう準備を進めているところでもあります。

さて、みなさんも毎日園庭で、子ども達が楽しくお友達と遊んでいる姿を見ると、他人との関わりがこれほど素敵に出来ることが羨ましく見えることがあります。

ある植物生態学の専門家の言葉に「心地よい森を作るには、一本だけ木を植えてもちゃんと育たない。たくさん植えても、同じ種類の木だけを植えても、良い森は造れない。何種類かの木を、適当な間隔で植えて初めて造ることが出来る。」というものがありました。

園でも、一人ひとり個性や感性の違う子どもが、互いに刺激し合い補完し合うことで、集団としての大きな力となるのだと思いますし、そのような関係性の中で成長した子どもは、シュタイナーの言う「この子たちが成人して世の中に出ていく時、外の権威に頼ったり世の中の趨勢に左右されたりしないで自身の内面で考え、その考えたことに自己の感情がこもっており、しかも考えたことが実行できるという行為まで伴う。」そんな子ども達に成長してくれたら、未来の日本や世界は平和で安全な時間を作れるのだと思いますのです。

今年も今年であり、子どもにとっても、保育関係者にとっても、ワンダフルな一年であることを願わずにはられません。

表彰

おめでとうございます

平成二十九年度に、県内保育園・こども園関係者で、上部団体から表彰を受けられた方々は、次のとおりです。

皆様の長年にわたる児童福祉へのご貢献が認められたものであり、心から喜び申し上げます。

感謝と敬意を表しますとともに、これからも益々活躍されますことを祈念いたします。

◆全国保育協議会会長表彰

後藤 千春

富士市

岩松保育園

松川 由美

静岡市

たんぼぼ保育園

山下 いづみ

三島市

芙蓉台保育園

久保田 弘子

袋井市

浜松学院大学付属愛野こども園

新年の御挨拶



静岡県健康福祉部こども未来局長

鈴木 紀美代

新年明けましておめでとうございます。

新春を寿ぎ、本県の保育行政への御理解と御協力をいただいております皆様、心から御慶びと御礼を申し上げます。

平成三十年の年頭にあたりまして、謹んで御挨拶を申し上げます。

昨年も、待機児童の解消や保育士確保が注目を集めた年となりました。衆議院の解散総選挙では幼児教育の無償化も争点となり、国を挙げて保育に対する課題を解決する機運が高まっていると感じているところであります。

こうした中、貴会においても大きな動きがあり、昨年十月から、会の名称が変更されました。会員の皆様の中に、認定こども園や小規模保育事業所などが増加している背景があることなどによるものと伺っております。皆様の子ども・子育て支援新制度への御協力と保育の現場における不断の御努力によって、新制度が円滑に運用されている証でもあると

受け止めております。

さて、本県におきましては、保育士のキャリアアップの仕組みづくりと、その導入の支援にも取り組んでおります。昨年度、貴会の御協力のもと、保育現場の実態調査を実施したところ、三年から七年程度経験のある方々の負担感が強いということなどがわかりました。これらを踏まえ、さらに本年度から実施された国の処遇改善にも対応する静岡県型の保育士のキャリアアップモデルを作成いたしました。調査結果とキャリアアップモデルは会の皆様にも配布させていただいておりますので、保育士の処遇改善のため御活用いただければ幸いに存じます。

一方、国の処遇改善の実施については、現場から御意見等を多数頂戴し、また、県としても改善の対象となる方の人数に制限があることなど、国の対応は十分ではないと考えております。こうしたことから、県では、現場の声を直接、国に届けてまいりました。皆様の現場の声が国の施策に反映されるよう引き続き働きかけを行っていく所存であります。

将来を担う子どもたちは地域の一番の宝であります。社会全体で子どもと子育て家庭を応援する、そうした世の中にしていくため、県では様々な取組を進めているところであります。皆様におかれましては、「子どもの最善の利益」のために質の高い保育が確保されるよう引き続きの御尽力を心よりお願い申し上げます。末筆ながら、皆様の御健勝と御発展を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

◆日本保育協会会長表彰

*永年勤続保育者表彰(施設長)

太田嶋 裕子

静岡市

あゆみ第2保育園

安本 敏江

静岡市

賤機こども園

杉村 とみ子

三島市

芙蓉台保育園

*永年勤続保育者表彰(職員)

寺尾 一恵

沼津市

いずみ保育園

笠原 仁美

浜松市

湖東白ゆり保育園

佐藤 津太子

浜松市

湖東白ゆり保育園

宮崎 久美子

浜松市

湖東白ゆり保育園

山梨 寿美子

静岡市

こばと保育園

松浦 厚子

静岡市

ほのぼの保育園

佐藤 あや子

富士市

松岡保育園

◆全国私立保育園連盟表彰

*保育功労賞

神野 博行

静岡市

ゆりかご保育園

「平成29年度 民間園長研修会」



今年度の民間園長研修会は、十月二十六日（二十七日にかけてホテルオークラアクトシティ浜松で百八十三名の参加者を迎えて開催

されました。今年度も「夢と希望を持てる保育園・こども園とは」民間園長の資質向上を目指す」というテーマで、「子どもの生活環境や子育て環境が大きく変化し、子ども・子育て支援新制度が施行された中、保育園・こども園の役割は高まりつつあり、より質の高い保育・幼児教育を提供し、安定した施設運営・管理を行うため、民間園長の果たすべき役割を再認識し、研鑽を深める」ことを目的とした研修会でした。



一日目の講義①は、静岡県健康福祉部こども未来課長 黒柳いずみ氏の講義。テーマは「保育行政の動向について」市町村別の合計特殊出生率や、認可保育所の入所定員と待機児童数の状況について詳しく説明をしていた。また、ふじさんっこ応援プランの取り組みについて説明をいただき、大変参考になりました。

次に講義②は、立正大学社会福祉学部教授 大竹 智氏による「子育て支援から連なる児童虐待における保育所・幼保連携型認定こども園の果たす役割」がテーマの講演でした。日々

子どもと保護者に接する保育所・認定こども園において、児童虐待に至る前段階で活用できるガイドブックの紹介を



していた。だきまし。た。「気づく」「かわる」「つなげる」の三つのキーワードを意識して作成されており、自ら悩みを伝えることができる。抱え込んでしまう保護者や子ども自身の思いや、日常の保育の場面において感じる子どもや保護者の違和感に気づいて、かわり、つなげることの大切さを知ることができました。

二日目の講義③は、静岡県立短期大学部こども学科教授 永倉みゆき氏による「ふじのくに型キャリアアップについて」をテーマに行われました。保育士の就業に関する実態調査の結果をもとに分かりやすく説明いただき、今後のキャリアアップ制度についての理解も深まりました。以上、大変充実した研修と、各園どうしの交流を深めることのできた二日間でした。

育児相談研修会

期日

東部 平成二十九年十一月十四日 (火)

中部 平成二十九年十一月二十八日 (火)

西部 平成二十九年十一月七日 (火)

会場

東部 沼津市民文化センター大会議室

中部 パルシェ七階 第一・二・三会議室

西部 アクトシティ浜松コンGRES
センター五階会議室

テーマ

「親への対応」「話の聞き方、伝え方、
話の引き出し方」

講師 ひととき保育高井戸

施設長 磯田節子氏

平成二十九年度の育児相談研修会は県下三
会場で、昨年度に引き続き磯田節子氏を講師
にお迎えして開催されました。

中部で行われた研修会では、磯田先生の自
己紹介、ひととき保育高井戸や東京の保育現
場で実際に起こっている具体的な保育トラブ
ルについての話を聞くうちに、六十二名の参
加者が自園のトラブルとリンクしていくの
か、先生の話に引き込まれていく様子が窺が

えました。引続き先生がその現場で実践され
ているカウンセリングの言葉（技法）や傾聴



の基本態
度、関わる
ときの行動
チェック、
場面構成、
傾聴の限界
等のお話を
お聞きしま
した。その
後、午後に
行うワーク
に向けグル
ープ作りが
行われまし
た。血液型
や好きな季

節、色など共通点を見つけながら六人ずつの
グループに分かれていき、そのグループ（相
談室と設定）の名前を各自決めて発表してい
きました。ここでは、和やかな雰囲気からか
グループ内一人ひとりの壁が取れ、今日初め
て会ったとは思えないほど打ち解けその後の
昼食中も色々な話をしたようでした。

午後に入りグループワークを行いました。
いくつかの事例について、聞き手、話し手、観
察者と役目を変えながら相談の対応の実践を
行って、自身の体験や思い、考えをぶつけ合
い、グループごと対応策を考え発表しました。
発表者や他のグループの真剣な態度に意識の

高さを感じると先生も関心しきりでした。

最後は約二十人ずつ三つのグループに分か
れて、今日の講義の感想を話していきました。
「初めはワークが苦手であるのが億劫でした。
でも、こんなにいろいろ話せて楽しかったで
す。」「実は初対面の人とは話すのが普段はう
まいかないのに、今日は話すことが出来ま
した。」「今日学んだことを自園で少しずつで
も実践していきます。」とプラスな感想ばか
り出てきました。磯田先生の人柄と講義を盛
り上げ進めていく技術のおかげだと思いま
す。保育業務に必要な専門知識や技術の習得、
資質向上を目的とした研修ですが、それ以上
のものをもち帰ってもらえる研修になった様
でした。



台湾・海外交流研修に参加して

すみれ認定こども園 佐野 美樹

十一月五日、静岡空港より空路台湾桃園空港へ。飛行時間は三時間三十分。上空からキラキラ輝く夜景を見ながらの着陸でした。

六日、台北市内観光。忠烈祠、龍山寺では、一糸乱れぬ衛兵の交代式が印象的であり、仏像、道教や神像が祀られた風格ある寺の歴史を感じました。十分、九分では、『子どもたちの幸せ』を願う天燈（大型のランタン）を揚げました。また、「千と千尋の神隠し」のイメージの舞台となった町並みや軒下の提灯に旅情を誘われました。



七日、博如日本幼稚園視察。台湾人と日本人で資格を持った保育士や幼稚園教諭が、日本語による保育を行うということでした。年間行事では日本と台湾の伝統文化や行事を体験できるような配慮があり、日本人としての『情緒』『文化』が大切にされていました。午後は故宮博物院を見学後、ふじのくに静岡県台湾事務所の方と夕食を兼ねた意見交換会をしました。台湾の諸事情について直接話を聞くことができ、より身近に感じることができました。

八日、永和快樂瑪麗安（アメリカンスクール）視察。すべて英語のみの会話でした。朝の集まりの場面を見させていただき、ゲーム説明の場面では私自身参加させていただき貴重な体験ができました。年齢別のクラスの子どもたちと片言の英語で接することで、身近に感じるようになりました。午後は自由行動になり、私は台北のシンボル五〇八メートルの高さを誇るTaipei 101へ行きました。あいにくの天気で展望台からの景色は霧にかすんでいて残念でした。夕食は市内レストランにてさよなら夕食会でした。四泊五日の研修でしたが名残惜しい気持ちで胸がいっぱいになりました。また、サプライズがあり、十一月生まれの私は台湾でめでたいときに使う桃饅頭で誕生祝いをしていただき、思い出深い経験をさせていただきました。

九日、台湾での思いを胸に帰路につきました。この研修を通して、日本の文化と異なること、ものに触れることができ、よい経験ができたと思います。また、お国の違いはあっても子どもたちのことを大切に思う気持ちは、世界共通なのだと痛感しました。

今回、このような機会を与えてくださった皆様をはじめ、快く送り出してくれた園長先生や職場の皆さんに感謝の気持ちでいっぱい입니다。ありがとうございました。



全国青年保育者会議 静岡大会

九月六日から八日までの三日間、ホテルアソシア静岡にて、今年第三十九回目を迎えた日本保育協会全国青年保育者会議が盛大に行われました。初めての静岡での開催となりましたが、全国各地から定員を大きく上回る数の大変多くの方々にご参加いただきました。

大会では「世界の宝を守ろう。ふじの国で目指す教育・保育の頂」というテーマが掲げられました。少子化や待機児童の問題、子どもを取り巻く様々な環境の変化などに伴い、教育・保育の質が改めて問われているこの時代に、これから保育者としてどのような意識とスキルが必要なのかを見つめ直す研修会となりました。



新制度や保育を取り巻く状況を話題とした行政説明が始まった一日目は、基調講演①として、白梅学園大学の汐見先生と聖隷クリストファー大

学の細田先生の対談が行われました。実行委員である野中保育園の中村先生のコーディネートのもと、これからの教育・保育について指針改定のポイントや保育プロセスの質の評価など様々な視点で活発な議論が交わされました。夕方に設けられた情報交換会の席では、大道芸人の出演や静岡の名産が当たるビンゴなど、静岡らしいアトラクションが行われ、歓声や笑顔に包まれた華やかな情報交換会となりました。



ような考え方や関わり方が求められているのかを学びました。保育者の関わりの影響はその対象者にとって一生ものであり、その目的や目標・価値を考え、専門職としての姿勢や態度を持つことの必要性を改めて考えさせられた講演となりました。

二日目は本

部報告の後、東洋大学の高山先生とG3保育環境研究会（森本先生・大西先生・志賀口先生）による基調講演②が行われました。「保育の質を高める」というテーマで、専門職としての

第一分科会では保育の質を振り返るためのスケールの視点と例を学んだり、映像を見てグループワークを行い、第二分科会では子どもの好奇心や探究心に基づく学びの芽生えを、保育者と環境構成の視点で考える研修でした。第三分科会では、採用した職員をいかに優秀な人材へ育成していくかをキャリアパスの視点からも考え、第四分科会では元日本保育協会青年部が中心となり、学びの環境のステージ作りや、主体的な学びにつながる実践発表等がありました。第五分科会はお茶摘み体験で、県外の参加者も初めての静岡体験を五感で楽しんでいました。

最終日記念公演は、バルセロナオリンピック金メダリストの岩崎恭子さんを迎えました。生い立ちやメダルを取った前後の人生、あの名言の背景、そこから得られた教訓など、本音

を交えたリアルな経験談をお話しいただきました。ここの一番を左右するのは「素直さ」である。その言葉の重みや姿勢の大切さを強く感じさせられた講演会でした。



伊豆の国市立 あゆみ保育園 園長 近藤 栄己

今回は伊豆の国市立あゆみ保育園を訪問させていただきました。昭和二十八年長徳寺住職が境内に設立、昭和三十三年長徳寺保育園の認可を受けて開設、昭和四十七年葦山町に委託し、葦山町立堀越保育園を創立し、平成十七年三町合併により伊豆の国市立堀越保育園となる。平成二十五年新園舎落成、移転に伴いあゆみ保育園に改名。歴史のある保育園です。



平成二十七年七月に世界文化遺産に登録された葦山反射炉で知られる、伊豆箱根鉄道駿豆線葦山駅から程近く、葦山文化センター・葦山時代劇場が隣接し、周囲には田園風景が広がる恵まれた環境の中にあゆみ保育園があります。子ども達は、日ごろから蛭ヶ島公園や城池親水公園への散歩など、葦山の深い歴史に触れる機会も多くあるそうです。

まだ新しい平屋建ての園舎は先生方の多くの経験とアイデアが詰め込まれた、すばらしい建物でした。玄関ホールに入ると、木材

がふんだんに使われた温かく心地よい空間が広がります。高窓から差し込むやさしい光があふれる保育室の前には気持ちの良さそうなテラスがひろがり、さらにゴムチップ舗装の先に広い園庭が広がって子ども達はのびのびと元気に遊んでおりました。

近藤園長先生は、温かさのある保育園、地域に開かれた保育園を経営方針に、子ども達一人ひとりが大切にされて自分の思いをきちんと伝えられる、自己肯定感の育まれる保育を心がけているそうです。地域の交流が大変盛んだということで、取材当日には地元の葦山中学校の二年生三十五名が来園していました。これは、技術家庭科授業の一環で、子どもと触れ合う体験として中学生が自分達で遊びの



プログラムを考え、絵本の読み聞かせをしてくれるそうです。他にも周辺の高校、特別支援学校の高等部など、多くの生徒が体験やボランティア



活動で訪れるそうです。また、民生児童委員さんや近くの高齢者のクラブの方々が、このほりの設置や子ども神輿体験などの、園行事の手伝いに来てく

れたり、近くの田畑を借りての田植え、稲刈り体験や、餅つきをしたり、畑で取れた野菜を子ども達と一緒に調理して、一人暮らしのお年寄りやカレーを食べるなど、特別な行事だけではなく、園の活動の中に自然に地域の方が参加している様子が伺えました。園内にも、「おじいちゃん先生」と呼ばれる児童指導員がおり、花壇や野菜の手入れなどをしてくれているそうです。最近では東部地域の家庭でも田畑の作物や地域伝統行事などへの触れ合いが少なくなっています。地域の様々な機関・団体と連携を取って保育に生かしているあゆみ保育園さんは、地域全体で子育てをしていると強く感じました。

今回は年末のお忙しい中、快く取材に応じてくださった近藤園長先生をはじめ職員の皆様、本当にありがとうございました。

島田市 神谷城保育園

周囲を茶畑に囲まれた風光明媚な場所に位置する神谷城保育園。島田市（旧金谷町）のこの場所で開園し、今年六〇年目を迎えた。現在定員九〇名。現園舎は一九八〇年に改築。

開園当初は、茶業や養蚕業などを中心とした地域の農家のこどもたちが多く、各家庭に保育者が園児を迎えに行くこともあったそうである。その後、地域のニーズも拡大し、金谷全域の子育て家庭の支援をするため山間部であることもあり、バスでの送迎も開始した。

保育目標である『心身共に健康な子どもを育てる』『明るく元気な子・友達と共に活動ができる子・創造性が豊かで意欲のある子』



の思いのもと、恵まれた自然を生かした保育を実践し、四季折々の山菜を収穫したり、それを地域の皆さんの協力を得ながら天婦羅

園長 小関健太郎



にしたりして味わうこともある。冬には周囲の野山をマラソンしたり、カモシカや野ウサギなどとも出会いながらの散歩や、親子ハイキングをしたりと豊かな自然の中で心豊かな保育園生活を送っている。

取材当日は、今春就任した健太郎園長と先代である秀利理事長が元気な笑顔で迎えてくれた。また各クラスを訪れると、お二人の手柄を反映したかのように、乳児クラスから幼

児クラスまで人懐こいこどもたちが歓迎してくれ、心温まるひと時となった。就任一年目の健太郎園長は「一日の時間が足りないくらいやることが多い。いまはとにかく一所懸命頑張ります。」と語り、「だんだんと慣れてくるとわかってくるよ。保育のいろんな変わり目だし、良いタイミングだ。」と隣で微笑む秀利理事長の姿は、その時ばかりはおとうちゃん顔となっていた。

保育新時代に、六〇年目の次なる「はじめの一步」を踏み出した神谷城保育園。地域の中でこどもたちを真ん中にしながら、これからも継承と進化を繰り返しながら歩んでいく姿を感じられた。

ゆるやかな時間の流れる神谷城保育園で育つこどもたちは、愛情という自然の栄養もた



つぷり受けて、大地にしっかりと根を張り、伸び伸びと発達成長していくことでしょう。

この度はお忙しい中、お時間を取っていただきありがとうございました。

浜松市立 舞阪第一保育園 園長 藤野 和美

今回、西部地区「ぶんこ」で訪問取材をさせて頂いた保育園は、浜松市の西区にあります。開園は昭和三十八年と歴史があり、当初は舞阪町立第一保育園として開園し、浜松市との合併により、現在の浜松市立舞阪第一保育園となりました。近くには、弁天島温泉があり、夏は海水浴、冬は元旦の初日の出の撮影、また、年中釣り人でにぎわいを見せ浜松市の西の玄関口となっている場所です。保育園は定員数八十名で現時点で六十二名が通っているそうです。



まず、周辺環境については住宅地に囲まれ弁天島駅が近いのですが、とても静かで落ち着いた印象で自然環境としては浜名湖がとても身近に

感じられる印象がありました。園長先生にお話を伺うと、お散歩の時には、「ウォット」と言う浜名湖体験学習施設が近くにあるの



で、そこで海の生き物や浜名湖にいる魚をみたり、まっぼっくり拾いをしたりと様々な体験が出来るそうです。

また、防災対策については海辺ならではの津波に対する対応としてライフジャケット装着訓練や地域と連携して裏手にあるビルの屋



上に避難する訓練を行うなど、特に力をいれていると感じられました。そして、地域交流の一環として毎月お茶会を開催をしたり、老人会や施設との交流も行っており、発表会の

時などにも招いているそうです。

また、保育としては異年齢児によるふれあいを積極的にに行っているとの事でした。現在少人数で保育を行っているため、子ども一人ひとりとしっかりと向き合える事ができ、地域からも温かく見守られ、連携や交流がしっかりと行えているとの力強い言葉を頂きました。今回は、年末のお忙しい中、快く取材をさせて頂き下された園長先生をはじめ職員の皆様には心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

ふじさんっこ応援フェスタ

第五回目を迎えた「ふじさんっこ応援フェスタ」が、十一月十日に沼津市のプラサヴェルデで開催されました。

この催しは、子育て家庭を応援し、子どもを生み育てやすい環境づくりを、行政・企業・子育て支援団体・個人などが一体となって応援し、より多くの県民のみなさまに実際に見て体感してもらおうと毎年行われています。

フェスタには、合計九十六団体が参加し、当日は子育て中の親子を中心とした約一万三千人の来場者で賑わいました。



オープニングセレモニーでは、愛鷹保育園児によるにぎやかな踊りと手話による合唱や、桜ヶ丘幼稚園児によるハンドベル演奏が心地よく響き、会場からたくさんの拍手が沸いていました。

静岡県保育連合会のブースでは、各保育園の紹介コーナーと、親子で遊べる「とんとん相撲」のコーナーがあり、お父さんやお母さんと一緒に動物力士に色を塗り、親子で勝負して楽しみました。

このフェスタ開催を通じ、さまざまな団体が子育て家庭を応援している事やたくさんの方の情報提供ができたこと。何より親子が笑顔になり楽しんでいた姿を見ながら、来年の「ふじさんっこフェスタ」をみなさまが期待して待っていてくれたら、応援隊として県民のみなさまへの「かけ橋」の役目が出来たのではないかと感じた一日でした。

児童虐待防止静岡の集い

十一月十一日に「第九回児童虐待防止静岡の集い」が開催されました。この集いは、児童虐待防止月間である十一月に「児童虐待防止・社会的養護の充実」に向け、県内行政機関・関係団体が一体となり、県民の関心と理解を得るために行われています。

第一部講演会は、県総合社会福祉会館で、ジャーナリストの石川結貴さんから「いちはやく知らせる勇気つなぐ声」と題して、豊富

な取材実績をもとに、虐待と家庭崩壊がもたらす影響や子どもを守るための基盤が揺らいでいる現実について深刻な話がありました。

また、第二部は静岡市の繁華街を「児童虐待をなくそう」のシュプレヒコールとともに県保連の会員も含む関係団体がパレードを行って県民にPRし、最後に副実行委員長である県保連を代表して海野副会長が挨拶を行いました。

さらに「オレンジリボンたすきリレー」も富士市から県庁まで行われ、今回は、県保連青年部会の五名が参加し勇姿を見せてくれました。



来年度は十一月十日に節目の第十回集いが行われます。多数ご参加ください。



保育園の社会貢献活動

保育園フェスタ2017

浜松民間保育園園長会

平成二十九年十一月十一日土曜日、浜松市ギャラリーモールソラモにおいて今回で四回目となる「保育園フェスタ2017」を、加盟園の園児や保護者の方以外にも多くの皆様に参加していただき、盛大に開催することができました。

元々の目的は、市民の皆様に保育園と幼稚園との違いや保育園での生活や教育について正しく理解していただくことでした。しかし、新制度の施行以降に浜松市内では保育園から幼保連携型認定こども園へと移行する園が多く、今年度は会員園の約半数が幼保連携型認定こども園へと移行しており、親子で楽しみながら愛着関係を育み、子育てが前向きになることにつなげたいということも目的に加わってきているように感じます。

内容については、メインステージにて子どもたちが歌やダンス、太鼓を披露し、加盟園が各区（東区・西区・南区・北区・浜北区及び天竜区・中区）に分かれて絵本の読み聞かせや木工あそび、伝承あそびなどのブースを構え、子どもたちと保護者の方々に楽しい一時を過ごしていただくことができました。

また、協賛していただいた遠鉄百貨店の五階では、保育園等の日常の保育や行事の様子の写真を展示し、会場の大型ビジョンでは区毎で園の紹介を行い、皆様に保育について知っていただくことになりました。

浜松民間保育園園長会では、保育園等の活動をもっと多くの方に知っていただくために、また子育て世帯の方が元気になるように、このような活動を今後も継続していく予定です。



静岡市 保育フェア

静岡市保育協会

静岡市では、一般の方々に公私立保育園・こども園の様子を知ってもらうために、静岡市保育協会主催の「保育フェア」が開催されました。清水区は、九月二十四日に清水マリパークで行われた「福祉のまつり」内において、葵・駿河区では十一月十一日に葵スクエアにて行われました。

両会場とも天候に恵まれ、素晴らしい青空の下、保育士・保育教諭による様々な催しが披露され、来場した子どもたちと一緒に楽しんでみました。

清水区の「福祉のまつり」では、区内の様々な福祉関係者が参加して行われるため、来場者も多く、多くの人たちに保育園・こども園の様子をPRすることができました。中でも、中央ステージで行われた、保育士会清水支部の職員によるオペレッタは、多くの人が足を止め拍手喝采を浴びていました。

葵、駿河区の会場は、静岡市役所前ということもあり、買い物客や、周辺のイベントに來た方も立ち寄り、とても賑やかに開催することができました。

遊びや製作などの体験コーナーや、写真やパネルで園内の様子を展示するコーナー、またステージの上ではダンスや歌、ペープサートが披露され多くの来場者に好評を頂きました。



保育園、こども園、幼稚園、小規模保育所など施設形態が増えてきた中で、保育に携わる人すべてが、子どもたちの健やかな成長を見守っていることを、多くの方に知っていただけるように、これからも続けて行きたいと考えております。

また、フェアのために準備していただきました皆様には深く感謝申し上げます。

NUMAZU保育フェスタ2017 「親子のきずな」

沼津市保育園連盟

平成二十九年九月十六日土曜日、サンウエルぬまづを会場にして、沼津市内の公私立保育園・子ども園による保育フェスタが行われました。

子育て世代の親子や在園中の親子を対象に保育士とふれあう中で保育園ってこんな事をしているよ、保育士だけではなくいろいろな職種の人がいること等を広く知っていただき、「親子で楽しく遊ぼう」をテーマに開催いたしました。

会場のフロアを幼児、乳児、給食のコーナーに分けて準備し、看護師による相談、入園相談のコーナーも設けました。まず市内の保育園・子ども園を写真で紹介した「受付」にてスタンブラリーカードをもらってスタートします。「幼児コーナー」のいくつかのブースには体験あそび、製作やゲームの勝敗に歓声が上り、あちこちで親子の声が聞こえ、楽しそうでした。「乳児コーナー」ではベビーマッサージやリトミック、読み聞かせの他に乳児用のおもちゃを用意しましたので親子でゆったりとゆるやかな時間が過ぎました。「給食コーナー」では離乳食やアレルギー食について質問があり、保育園の給食メニューや食育についての話しに熱心に聞き入る姿もみられました。「相談コーナー」では身体測



定をおこない、看護師がつくった病気の時の対応の仕方や保育園の登園の目安等がかかれたミニ絵本が好評でした。「ステージ」ではオーブニングに園児によるよさこいを披露し、にぎやかで元気いっぱいでした。また大人気の「おのりん」を迎えての親子ふれあい遊びは盛り上がりました。「おのりん」に会いたくて来る親子もいるほどでした。

当日は雨の降る天気ではありませんでしたが、親子の笑顔があふれ、楽しい一日となりました。

各支部だより

東部支部

支部長 白道保育園 土山雅之

一、総会及び施設長研修会

期日 平成二十九年五月十九日（金）

会場 沼津市民文化センター

演題 「絵本と鳥の巣の不思議」

講師 絵本作家・鳥の巣研究家 鈴木まもる氏

二、中堅保育者研修会

期日 平成二十九年八月三十日（水）

（三十一日（木））

会場 三島市立箱根の里少年自然の家

三、保育の日研修会

期日 平成二十九年十月二十一日（土）

会場 富士宮市民文化会館

四、民間部会県外施設視察研修会

期日 平成三十年一月十六日（火）

（十七日（水））

視察先 横浜市「鳩の森愛の詩瀬谷保育園」

五、行政部会

期日 平成三十年一月二十二日（月）

会場 長泉町役場

六、青年部会

期日 平成三十年三月三日（土）

会場 沼津市民文化センター

七、新規採用予定者研修会

期日 平成三十年二月二十二日（木）

（二十三日（金））

会場 三島市立箱根の里少年自然の家

八、家庭における読み聞かせ活動の普及

中部支部

支部長 一番町保育園 海野美代子

一、総会及び施設長研修会

期日 平成二十九年五月十二日（金）

会場 静岡県総合社会福祉会館

講師 白梅学園大学学長 汐見稔幸氏

演題 「これからのこども園、保育園の課題と園長の役割」

二、中堅保育士等研修会

期日 平成二十九年九月十五日（金）

会場 静岡県総合社会福祉会館

講師 諏訪保育園園長 島本一男氏

演題 「保育記録を通じた関係づくり」

三、保育所職員研修会

期日 平成二十九年十二月十三日（水）

会場 静岡県立焼津青少年の家

テーマ 「五感を磨き、高い感性の保育士等を
目指して」

四、新規採用予定職員研修会

期日 平成三十年二月二十日（火）（二十一日（水））

会場 静岡県立焼津青少年の家

五、各地区・青年部会事業

各地区ごと・青年部会の事業計画に基づいて実施

西部支部

支部長 ルンビニ保育園 岡田泰稔

一、総会及び施設長研修会

期日 平成二十九年五月十二日（金）

会場 アクト音楽工房ホール

講師 コミュニケーション・ホーム喜舎
代表 生利喜佐男氏

二、中堅職員研修会

期日 平成二十九年六月二十八日（水）

会場 アクト音楽工房ホール

講師 静岡県幼児教育センター
藤本眞二氏・福井孝子氏

三、男性職員交流研修会

期日 平成二十九年八月四日（金）

会場 クリエート浜松

講師 なごみこども園
園長 志賀口大輔氏

四、初任職員研修会

期日 平成二十九年九月十四日（木）

会場 アクト音楽工房ホール

講師 NHK Eテレ体操指導 藤原明美氏

五、小児医療研修会

期日 平成二十九年十月五日（木）

会場 アクト音楽工房ホール

講師 国立感染症研究所
奥野英雄氏・森野紗衣子氏

六、新規採用予定職員研修会

期日 平成三十年二月十四日（十六日）

予算対策委員会

委員長 白道保育園 土山雅之

県下の公私立保育園・認定こども園五百七十四ヶ園で構成する私たち保育連合会は、子ども・子育て支援新制度が本格施行され、保育制度がこれまでに大きく変革した状況の中、地域で最も身近な子育て支援の拠点として、日々子どもの育ちを保障し、地域の子育て文化を育んでいくため、次の七項目を静岡県に対して要望しています。

- ① 食育の充実と推進するため、非常勤調理員の加配を要望します。
- ② 乳幼児保育事業の充実及び四・五歳児の職員配置改善について要望します。
- ③ 保育標準時間に対応した職員配置の配置および処遇の改善について要望します。
- ④ 保育士確保及び定着促進のため、県内市町が保育士宿舎借り上げ支援事業を実施するよう県から市町へ働きかけを行い、県として保育士の就労・定着促進のための環境改善支援策の導入について要望します。
- ⑤ 年度途中入所サポート事業の継続について要望します。
- ⑥ 東海地震等大震災に対する安心・安全な施設として園舎のさらなる耐震化および施設整備、特に災害対策用の機器、備蓄食料等について充実が図られるよう要望します。
- ⑦ 産休等代替職員雇上事業の補助基準額の

増額について要望します。
加えて、保育三団体の予算対策活動に参画し、国に対して要望をしています。

海外交流委員会

委員長 一番町保育園 海野美代子

今年度は、台北で視察研修会を開催しました。平成二十九年十一月五日(日)～九日(木)まで四泊五日の日程で二十二名が参加しました。日曜日夕方、静岡空港からの出発ということで、時間に余裕があり移動も楽にすみました。視察先は、博如日本幼稚園と永和快樂瑪麗安(英語圏の教師による英語による教育が特徴)の二か所でした。少子高齢化、貧富の差という問題があり、すべての子が一定の基準のもと、平等に保育・教育を受けるのが難しいようでした。各施設とも積極的に質問する参加者の皆さんでした。また、市内の視察で台湾の文化、歴史などに触れることができました。充実した研修となりました。

次年度については、六月開催の予定で検討中です。目的はニュージーランドの予定です。今後のお知らせをおたのしみに：

少子化対策委員会

委員長 一番町保育園 海野美代子

保育所・認定こども園利用者以外に、子育て支援への関心と理解を求める啓発活動を行った場合の経費(一事業五万円)を助成する

「子育て支援啓発活動事業助成金制度」を実施しています。これは複数の施設や団体で行う事業であれば民間園や公立園の区別なく、また、保護者会等の団体でも助成対象としています。各支部三事業(十五万円)の予算を組んでおりますので、この助成金を活用したい団体は、各支部事務局にご連絡ください。また現在啓発品について準備検討中です。ポスターや「あいあいホットマークバッチ」など、作成中ですので、今後のご協力よろしくお願いいたします。

研修委員会

委員長 ひくまこども園 山田佳敬

本年度の下期予定研修も民間園長研修会、育児相談研修会が終了いたしました。皆様のご協力ありがとうございました。詳しい内容については、各研修報告のページをご覧ください。

さて、十月の衆議院議員総選挙後から幼児教育無償化が急速に議論されております。実際には自由民主党としてはずいぶん前から議論されていたようですが、やはり我々国民には急な政策であるかのように感じられます。また、新制度が始まり、もうすぐ三年が経ち、制度の見直しが始まることが予想されます。国の動向から目が離せない時期が続くそうです。

しかし、我々にとって一番大切な使命は「子どもたちの最善の幸福」であることは変わり

～活動の報告と計画～

ありません。今後も制度に偏ることなく、より良い保育のための研修会を企画してまいりたいと思います。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

今年度内の研修会は次の通りです。

○施設長研修会（清水テルサ）

平成三十年一月二十四日（水）

○新規採用予定職員研修会

平成三十年二月中旬から下旬

（会場は各支部の研修会場にて）

保育士のキャリアアップ促進検討特別委員会

委員長 聖心保育園 吉川慶子

静岡県子ども未来局主催のセミナーでの意見や質問等を土台とし、十月十一日に県より保育士等のキャリアアップ研修に係る県の方針（案）が示され、その内容について協議いたしました。県が想定する内容について調整が必要な部分もあり、さらに協議を重ね、十二月五日保育士キャリアアップ制度検討会議において（会長とともに出席）見直されたモデル案の内容、県独自の実施方法・講師の選定・評価方法等について有識者会議で検討されました。

平成三十年度キャリアアップ研修の実施検討についてそろそろ明確な方向性を示さなければならぬ時期にもなってきたため、県・県保連・県保育士会・養成施設とのさらなる連携強化が必要であると考えています。多くの保育士等が参加したい、参加しやすい

事業実施ができるよう進めていきたいと思えます。

保育のしおり編集委員会

委員長 聖心保育園 吉川慶子

第九次改訂版の発刊から二年、保育所保育指針の改定に合わせ、第十次改訂版の編集作業を進め、無事発刊できる運びとなりました。子ども子育て支援法の施行から二年を経過し、保育を取り巻く社会的環境は大きく変化しています。しかし保育の根幹は本来変わっていないはずで、子どもたちが幸せに生活できるよう、子どもの育ちに関わる全ての保育者に向け、一つひとつの項目を委員一同精査し編集いたしました。いつもお手元にお持ちいただき、有効に活用して下さいますようお願いいたします。

青年部会

部会長 竜南こども園 太田嶋俊彦

今年度は、全国青年保育者会議の開催という青年部として大変大きな活動がありました。大会にあたり各支部約十名、合計三十二名の実行委員を編成し、一年以上前から内容の検討を重ねてきました。静岡では初の開催ということもあり、手探りの状況で苦労はありましたが、各人が知恵を出し合う中で士気が高まり、青年部として一体感を感じた大変実りある年となりました。来賓の皆様方はは

じめ、県内の多くの先生方にも多大なご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今後もこのつながりを大切に、青年部らしい誠実で積極的な活動を行ってまいりますので今後とも青年部の活動にご理解とご協力をお願いいたします。

●実績報告

五月十七日 第五十八回静岡県保育研究大会（応援スタッフとして参画）

六月九日 青年部総会及びシンポジウム

「実践事例から学ぶ教育・保育の質」「定

性変化に基づく質の向上」

九月六日～八日 全国青年保育者会議

●今後の予定

二月七日 西部支部研修会

公開保育・淀川先生、細田先生の講演予定

その他二月、三月に東部支部、中部支部で

各々研修会を行う予定です。



園および園児をさまざまなリスクからサポートします

園経営には、さまざまなリスクが伴います。(公社)全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する各種保険を取り扱っております。



ほいくのほけん

「園賠償責任保険」
「園児団体傷害保険（学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険）」
「特別保育事業賠償責任保険」など、
園経営におけるリスクに関する保険をラインナップしています。
また、それらを総合的に補償するセットプランもご用意しております。

園児総合保障共済制度

園児を24時間補償する共済制度
（総合生活保険（こども総合補償））です。
団体契約による割引の適用で割安な掛金で
補償を確保することができます。

上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。ご照会は、下記連絡先どうぞ。

(公社)全国私立保育園連盟指定
東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内
TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

〈引受保険会社〉
東京海上日動火災保険株式会社
担当課：公務第二部 文教公務室
TEL：03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険・総合生活保険（こども総合補償）の概要についてご紹介したものです。保険の内容は本保険制度のパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育園連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がございましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

16-T20321 2016年12月作成

さまざまな危険からお子さまをお守りする

『園児総合保障共済制度』

AIG損害保険株式会社

日々大きく成長されるお子さまたちの行動には
予測できないことも多く、何かとお心づかいの
ことと存じます。いつ、どこで何が起こるのか
予想もつかない事故の、確かな“まもり”とし
て本制度をお届けいたしております。

静岡営業支店 〒420-0851 静岡市葵区黒金町20-1
富士火災静岡ビル5階
☎：054-686-1150
浜松支店 〒430-7715 浜松市中区板屋町111-2
浜松アクタワー15階
☎：053-454-0321
沼津支店 〒410-0801 沼津市大手町2-10-14
三井生命沼津大手町第2ビル2階
☎：055-963-8081



すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社 **シャクエツ**

保育士の人材紹介・派遣

asuka アスカグループ

保育士求人ポータルサイト

保育情報どっどこむ

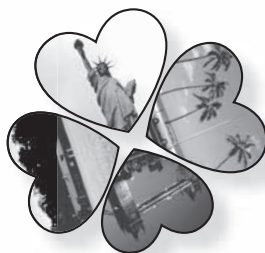
くわしくはwebで

検索

東京・横浜・相模原・八王子・大宮・宇都宮・高崎
つくば・新潟・大阪・福岡・広島・名古屋



さあ、ワクワク探しの旅に出かけよう！ www.tobutoptours.co.jp



“Warm Heart”
～ありがとうの連鎖を～



東武
トップ
ツアーズ

静岡支店

〒420-0859

静岡県静岡市葵区栄町3番1号

あいおいニッセイ同和損保静岡第一ビル10F

TEL.054-255-1919 FAX.054-252-9509

こどもの笑顔がみたいから

安心・安全な
保育園用おやつ



全国の保育園から
お使い頂いています



株式会社サンワールド

＜静岡支店＞〒421-0121 静岡市駿河区広野2-10-17

TEL054-256-6332 <http://www.sunworld-honsha.co.jp>

社会福祉法人支援システム「創・ゆとり」シリーズ

保育所「ICT化推進補助金」対応！

保育所事務処理の“作業効率化・正確化”を応援します！

園-SiEN(支援)

園児の記録を統合管理します
出席簿・保育日誌・週案・月案等を、
現在ご利用中の書式でデータ管理
できます！

財務会計2018

「新会計基準」準拠！
シンプルに使いやすく、予算～仕訳
～決算まで安心の、財務会計シス
テムです

給与計算2018

「給与実務カレンダー」「職員一覧入
力画面」等、便利な機能を追加して
生まれ変わった、給与計算シス
テムです



ISO9001・ISO27001認証 ITインテグレーター

株式会社 ユニテック

〒420-0911 静岡市葵区瀬名1丁目18-33 ユニテックビル
TEL:054-264-1111 FAX:054-264-7771

ホームページ www.unitec.jp メールアドレス eigyo@unitec.jp



子ども・子育て支援制度対応・ICT補助金対象システム 「PAL ANGEL (パルエンジェル)」

ICカードで簡単操作の登降園管理、園務日誌、保育計画、報告書等、多様化する 保育園の
事務作業をサポートいたします。クラウドサービスで安心です！

園の紹介、情報公開は簡単便利な
ホームページで！
「らくらく更新web」

苦情解決、事業報告、行事予定、アルバム等が
園のパソコンで簡単に更新できます！

簡単操作のメール配信システム
低価格で多機能！
「チェックインシステム」

緊急連絡他、アンケート調査、質問回答集計、閲
覧状況、受信状況も把握できます！



株式
会社

データサービスセンター

〒411-0912 駿東郡清水町卸団地63-2
TEL:055-972-7717 FAX:055-976-1057

<http://www.dataeast.co.jp> E-mail:h-sanada@dataeast.co.jp

編集後記

三島市 白道保育園 土山雅之
保育料無償化と保育の質の充実は
全く別物だということを伝えられ
らと思います。

御殿場市 双葉保育園 勝又秀文
相変わらずワードに苦しめられて
います。使いこなせる日は遠そう
です。

沼津市 いずみ保育園 十八公浄滋
今回もよい経験をさせていただきました。あり
がとうございました。

静岡市 麻機保育園 鈴木克明
みんなでコツコツと取材、編集がんばりました。
是非読んでください。

静岡市 有度十七夜山保育園 笠井友泰
取材して原稿を書く、という行為を初めて行
いました。ご協力ありがとうございました。

静岡市 城北保育園 松田 剛
今回もがんばりました。次回も楽しみにしてい
ます。

静岡市 竜南こども園 太田嶋俊彦
編集に少しずつ慣れてきて楽しくなってきました。
これからもよろしく願います。

焼津市 なかよし保育園 北山 茂
小関とうちゃん復活！元氣そうで良かったで
す。元氣があれば何でも出来る！

袋井市 袋井ハロー保育園 鈴木 康
今回も無事に発行できました。皆さんに感謝で
す。次号もがんばります。

湖西市 微笑保育園 河田宗康
本当に微力でしたが、編集業務を行うことがで
きました。ありがとうございました。

湖西市 真愛保育園 松浦弘太郎
大分慣れてきました。これからはがんばります。

海外交流研修会・台湾



「ほいく静岡」原稿写真募集中

保育実践・研究の紹介や育児相談・講座の紹介など奮ってご寄稿下さい。
ホームページ : www.hoiku-shizuoka.org

✉ 投稿先 静岡県保育連合会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1番70号
TEL / FAX : 054-251-8873